

こうすれば失敗しない! 品質問題も発生しない! 中国自社工場&生産委託工場の 品質管理と改善指導の進め方

日時 2018年 **2月22日(木)** 10:00~17:00
(9:30受付開始、休憩 12:30~13:30)

主催  日刊工業新聞社

会場 日刊工業新聞社 大阪支社 セミナールーム
大阪市中央区北浜東 2-16

受講料 **43,200円** (資料含む、消費税込)
*同時複数人数お申し込みの場合2人目から38,880円

大阪会場(日刊工業新聞社 大阪支社10階)
大阪市中央区北浜東2-16 TEL: 06(6946)3382

*天満橋駅(京阪電車、地下鉄谷町線)下車徒歩3分
■新大阪駅から地下鉄御堂筋線(新大阪→淀屋橋)北側出口 乗換、
京阪電車(淀屋橋→天満橋)西改札口
■大阪駅から地下鉄谷町線(東梅田→天満橋)北側2番出口



日刊工業新聞社 大阪支社 セミナー会場
〒540-0031 大阪市中央区北浜東2-16

●申込方法

お申し込みはWeb (<http://corp.nikkan.co.jp/seminars/>) かFAXまたは郵送にて受け付けております。申込受付後、受講票と請求書をお送りいたします。受講料は銀行振込にて開催の前日までに必ずお支払いください。尚、お支払い済みの受講料はご返金できかねますので、ご了承ください。振込手数料は貴社でご負担ください。

口座名義	りそな銀行	東京営業部	当座	656007
(株)日刊工業新聞社	三井住友銀行	神田支店	当座	1023771
	みずほ銀行	九段支店	当座	21049
	三菱東京UFJ銀行	神保町支店	当座	9000445

●申込先 日刊工業新聞社 業務局 イベント事業部 技術セミナー係
〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)
TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215
e-mail: j-seminar@media.nikkan.co.jp

受講申込書		2/22 中国工場品質管理		お申し込みは FAX 03-5644-7215	
■受講料: 43,200円 (資料、消費税込) *同時複数人数お申し込みの場合2人目から38,880円		※振込手数料は貴社にてご負担ください。			
会社名		業種			
氏名	フリガナ	TEL			
	部署・役職	FAX			
所在地	〒				
E-mail:		※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/> チェックをしてください。			

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。
※一度お振込みいただいた受講料につきましては、ご返金できかねますのでご了承ください。

No.172131

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。
なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkans.co.jp

開催主旨

中国に進出した日系企業の工場は、国内生産のような品質を再現できずに苦勞しています。実際に、中国工場の生産現場に足を踏み入れると様々な問題に気づきますが、これらの現象が見えたとしても、その要因の把握はたいへん困難です。なぜなら、日本とは異なる中国ならではの要因が、さらにその奥に潜んでいるからです。

本講座は、メーカーの中国駐在員として現地工場および取引先工場の改善指導に当たってきたエキスパートを講師に迎え、「3M (Man / Machine / Material)」の視点で、どの中国工場でも起きる品質問題を浮き彫りにした手法を、ワークショップ形式で伝授します。前段では、中国工場の品質問題を3Mの視点から原因を探り、その対応方法を検討します。これを踏まえ、後段では自社工場の品質管理の考え方と手法、生産委託工場&仕入れ工場が抱える典型的な問題と品質指導の要点を解説します。加えて、新規取引先を開拓する際のチェック項目も紹介します。

また、中国人と一緒に仕事をしたり中国企業と付き合ったりするためには、中国人および中国の国内事情を理解しておくことが必須です。講師の体験を交えて異文化コミュニケーションの理解も深めます。

本講座は、豊富な事例紹介とワークショップを通じて、課題解決のヒントを掴んでもらうことを目的としています。講師直伝の手法を会得して明日からの品質改善に役立ててください。

講師

KPIマネジメント 代表/東京商工会議所 中小企業国際展開アドバイザー **根本 隆吉 氏**

【略歴】 電機系メーカーにて技術部門、資材部門を経験した後、香港・中国の現地駐在員となる。購入部材の品質管理責任者として、のべ100社以上の中国工場の改善指導に奔走する。退社後、2007年にKPIマネジメントを設立。中国現地工場の品質管理体制の構築や品質改善指導、国内中小映像業の現場改善などを支援する。共著に「外観検査の不良率逃し・ばらつき低減」「クレーム/トラブル製品の検査・分析と発生防止ノウハウ集」(いずれも技術情報協会)などがある。メールマガジン「世界の工場・中国の実情から学ぶ工場改善手法」を配信中。著書に「中国工場の品質改善」(日刊工業新聞社)がある。

プログラム

I. 生産の3要素(3M)の面から品質問題を捉える

1. 人(Man)
 - a. 作業者
 - b. 管理者
 - c. 経営層
 - d. 日本人駐在員
2. 設備・機械(Machine)
 - a. 日本と同じ設備なら大丈夫か
 - b. ノウハウ伝承と維持・標準化
 - c. 教育のしくみ
3. 材料(Material)
 - a. 部材調達の変遷
 - b. 中国部材を使う側の問題点
 - c. 部材品質と対処法

II. 中国事情を理解する

1. 中国人を理解する
 - a. 謝罪のない文化
 - b. 会社への帰属意識は薄い
 - c. 中国人に対する指示の出し方
 - d. 宴席でのマナー
2. 中国で注意すべきこと
 - a. 中国人に対してやってはいけないこと
 - b. 言ってはいけないひと言
 - c. 贈ってはいけないもの
 - d. うまくいくコミュニケーションの取り方
 - e. 通訳の使い方

III. 中国自社工場の品質管理・改善で押さえるべきポイント

1. 中国工場での品質管理・3つの歯車

2. 中国工場のABC
3. 中国工場は日本工場の鏡
4. 3つの歯車を回して管理レベルを上げる
5. 人材育成-従業員教育の進め方
6. 人材マネジメント
7. 自社工場改善実施のための大前提
8. 課題解決の順序-工場のレベルで順序は異なる
9. 課題解決の基本は日本と同じだが...
10. 中国要因を見極める・事例
11. 品質改善が進まない・不良が繰り返される理由
12. 組織マネジメント
13. 改善の文化を定着させるには

IV. 取引先工場を見るとき、指導するときのポイント

1. 中国企業と日本企業との違いを認識する
2. 意識のずれを解消
3. 取引先に対応してもらうためのポイント
4. どこまで求め指導するか
5. 2つの視点を持つ
6. 短期的視点
不良を外に出さない仕組みをつくる
7. 生産委託先など数量のすくないものへの対応
8. 長期的視点
育てるという視点
9. 5Mで問題点を捉え改善指導する

V. 新規取引先を見極めるポイント・チェック項目

1. 改善の工場監査とは異なる視点を
2. 新規取引先選定のポイント
3. 中国工場を見極めるポイント